

TOPICS

第7回ビブリオバトルin香川大学を開催 12/1

ビブリオバトルとは、ビブリオバトラー（発表者）たちが、おすすめ本を持ち合い、一人5分の持ち時間でその本について紹介するものです。学生に向けて本や読書の関心を高め、発表参加者のプレゼンテーション能力の向上を図るとともに、企画立案を学生スタッフで行うことで主体的な行動ができるようになることを目指し開催。今年は、Zoomを利用したオンラインと対面のハイブリッド開催となりました。4人のバトラーのうち一人も



香川大学 ジオパーク×地方再生シンポジウムを開催

新たなインバウンド観光資源として変動帶としてのジオ・ジャパンが注目されています。本シンポジウムでは学術的価値のある地球活動の遺産とジオストーリーを四国の地方再生にどのように活用するかを考えました。吉田機構長(四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構)、国土交通省四国運輸局長の吉元氏からの挨拶に続き、長谷川副機構長から趣旨説明がありました。続いて「瀬戸内ジオストーリー・食と石の文化

12/3



パネルディスカッション全景

グローバル・カフェで「ミニ模擬国連」を開催 12/14

テーマは「児童労働」。実際の国連における会議を模して英語で行われました。学生が各国の代表者を演じ、自国の政策や歴史、外交関係などに照らし合わせて、演説と交渉を行い、決議を採択しました。「模擬国連」は世界中の高校や大学で授業や課外活動として実施され、約400の模擬国連会議が世界各地で



第5回香川大学 フォトコンテスト 作品募集

香川大学の魅力を広く発信することを目的として、Instagramを利用したフォトコンテストを開催。写真を撮ってInstagramに投稿するだけで、どなたでも応募できます。詳しくは、こちらから▶▶▶▶▶▶

応募締切日 2022年2月15日



香川大学広報紙「カダイゲスト」

KADAIGEST 12 2021



クリスマスイブ当日 たくさんのボランティアスタッフが集まりました (2019年)



サンタさんになる練習をしてイブ当日に臨みます



イブ当日 サンタさんになる準備中



主に公共交通機関を使って家庭に訪問



子どものいいところを、たくさん伝えてプレゼントを渡します

あなたも
誰かの
サンタ
クロース

香川大学 チャリティーサンタ 香川支部

チャリティーサンタは、「あなたも誰かのサンタクロース」を合言葉に、2008年から活動を始めた日本発祥のNPO団体です。クリスマスイブの夜にサンタクロースに扮したボランティアが、小さなお子様がいる家庭にプレゼントを届ける「サンタ活動」と、サンタ活動の際に家庭からお預かりしたチャリティー金（寄付）で、国内外の子どもたちの支援を行う「チャリティー活動」を行っています。現在30都道府県42支部で活動しており、香川支部は香川大学生が中心となって運営しています。私がサンタに扮してご家庭を訪問し、11人の子どもたちにプレゼントを渡したとき、子どもたちがキラキラとした瞳を私に向かって、満

面の笑みで「サンタさんだ～！」と言ってくれたことは今でも鮮明に思い出しができるほど輝いている思い出です。また、後日、お子さんと保護者の方から熱い想いが書かれた手紙をいただき、お子さんにも保護者の方にも夢を届けることができたのだと実感しました。自分も幸せになり、ご家庭にも幸せを届けることができる。このような体験はチャリティーサンタだからこそのです。子どもが好きな方、夢を届けたい方、一生に残る体験をしてみたい方はもちろん、少しでも興味を持ってもらった方は、ぜひチャリティーサンタに入って、私たちと一緒に活動しましょう。

活動場所	・幸町キャンパス
活動時間	・月に3回程度
部員数	・56人
Twitter	・@santa_kagawa
Instagram	・@santakagawaoyagoline

チャリティーサンタ
香川支部の
名称「CSK」



VOICE 「ほーぶバーガー」気候変動から生じる環境問題をハンバーガーから発信

ほーぶバーガー Instagram



ほーぶバーガーの店舗は東植田町にある「麦縄の里」という場所にあります。コーヒー屋、カヌレ屋、そうめん屋、おにぎり屋、雑貨屋などがあり、つくり手の顔が見え、こだわりのあるお店が集まっています。写真は里にある建物の一つ。こちらの左端に、ほーぶバーガーがあります。 ほーぶバーガー 住所・〒761-0446 香川県高松市東植田町1361

皆さん、「ほーぶバーガー」というハンバーガーショップを知っていますか？私はほーぶバーガーの代表です。ほーぶバーガーでは牛肉や卵などの動物性食品を使わず、豆腐や玄米などの植物性の食材のみでハンバーガーを作っています。私がこの店を始めたきっかけは、大学2年時に、所属している学生団体でボランティア活動のためにカンボジアへ行った際、目の当たりにした世の中の不平等に大きなショックを受けたからです。その時にカンボジアで実際に話した小学校4年生は、生きるために毎日ゴミを拾って生活していて、十分な教育を受けることも難しいと話してくれました。この話を聞き、私がそれまで日本で住んできた生活環境とはかけ離れておりショックを受けたので、そのような格差は正に取り組みたいと思いました。その後、帰国し、大学の友人とSDGsについて議論する機会があり、気候変動から生じる環境問題を知りました。気候変動の要因として二酸

化炭素などの温室効果ガスによって地球の温度が上昇することがあります。最近では、気候変動が原因で起こったオーストラリアの森林火災で、たくさんの動物や人が亡くなり、日本においても集中豪雨などの被害が増加しています。また気候変動の原因となる温室効果ガスの排出量は日本などの先進国が大半を占める一方で、排出量が少ないカンボジアのような発展途上国が最初に環境問題の甚大な被害を被ります。

このようなことから私がカンボジアで強く感じた世の中の不平等を再度感じ、気候変動から生じる環境問題に取り組みたいと思いました。そしてその方法として、まずは気候変動が起こる原因について、たくさん的人に伝えることができているという手応えを感じています。今後は気候変動の原因となる衣類や農業などからも取り組んでいこうと考えています。なぜなら香川の地ではその原因を知っている人が少ないと感じたからです。当初は友人に直接伝えたり、SNSで発信したりしていましたが、

効果はありませんでした。そして別の方法を考えていたときに、牛肉が気候変動を引き起こす一因になっているということを知りました。牛のゲップには温室効果の一因となっているメタンガスというものが含まれているからです。そうだとすると大人も子ども馴染みのある牛肉料理を、あえて環境負荷が低い植物性の食材のみで作り提供し「なぜこのハンバーガーはお肉を使っていないのか？」と疑問を持ってくれる方々を増やし、その上で自分の想いを伝える方が効果的であるという考えに至りました。そこで今年の5月からハンバーガーショップを立ち上げました。

今、気候変動が起こる原因をたくさんの人伝えができる手応えを感じています。今後は気候変動の原因となる衣類や農業などからも取り組んでいこうと考えています。最後になりましたが、是非一度私の想いが詰まったほーぶバーガーを食べにきてください。

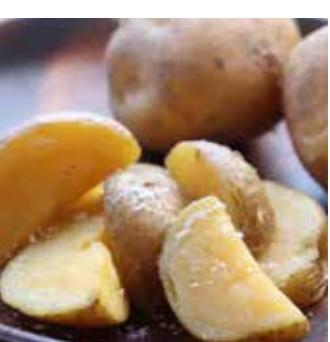
法学部4年 沖田竜太郎



ほーぶバーガー 豆腐や玄米などの植物性の食材のみで作っています



お店を始めてから、食べるということは「未来を創ることだと思うようになりました。消費者が食べものを買う→消費者が事業者にお金を払う→事業者は事業を継続できる→事業者の目指す未来や社会を創ることができる。消費者は買い物をすることで、事業者が実現したい未来に投票したことになると思うのです!!



自慢のほくほくフライドポテト
日頃食べている野菜をどんな人がどんな思いでどのように作っているのかを五感を通じて体験していただきたいと思い、ジャガイモの収穫体験＆試食会というイベントも行っています。



香川県産のレモン・オーガニックスピスを使用した自家製クラフトコーラ



ほーぶバーガー副代表の中島悠香梨（左）と沖田竜太郎（右）



環境問題を考えるうえで、毎月、ビーチクリーンを行っています。8月に開催したビーチクリーンでは、予想以上にゴミがありました。ビーチクリーン自体は30分ほどしかしていないのですが、ゴミ袋20袋以上集まりました。ゴミの内容は、紙オムツ・バーベキューセット・ペットボトル・発泡スチロール・ハンガー・野球ボール・タバコなど、日用品類とおそらく海辺で遊んだ人が片付けをしていないんだなーと思うものでした。

海ゴミの一つの問題として海洋プラスチックごみが劣化し、細分化した約5mm未満のプラスチック（マイクロプラスチック）を海中の魚が食べ、その魚を人間が食べることによって、有害物質を吸着したマイクロプラスチックが食物連鎖に取り込まれていることが指摘されています。ゆえに、日々の選択、行動が最も大切なことなんだなと改めて思いました。

同世代の仲間達と立ち上げた「FRESHWISH」というプロジェクト。20代以下の方向けに選挙投票を行った証明となる写真や証明書を対象店舗で見せていただくことで限定サービスを受けることができるというものです。このプロジェクトを行おうと思った理由は、「選挙ないし政治は自分の生活につながっているし、自分の未来にもつながっているから大切にすべきだ」と思ったからです！入り口は、選挙に行ったら何かサービスを受けられるということですが、目指しているのは、「自分一人が選挙に行ったところで社会は何も変わらない」、「日常生活に政治が関連づいていることがないのでもそもそも政治に関心がない」というところを変えることです。私は「自分の理想とする社会のために、政治を自分ごととして考えて投票する」ことは大切であると考えています！その第一歩として、「投票する」という体験をすることが大切だと思っています。